



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二
(コード番号 5660 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼
企画部長
吉 田 裕 彦
(TEL 06-6411-1051)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 8 月 9 日付「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)小南 孝教
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役総務本部長 (氏名)藤森 直樹 TEL 06-6411-1051
兼総務部長
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,228	△3.3	△8	—	△17	—	△12	—
24年3月期第1四半期	6,438	△8.3	167	△37.7	134	△48.9	69	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期△2百万円(△102.6%) 24年3月期第1四半期 78百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第1四半期	円 銭 △0.23	円 銭 —
24年3月期第1四半期	1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第1四半期	百万円 41,120	百万円 18,558	% 37.2
24年3月期	42,467	18,783	36.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,520百万円 24年3月期 15,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 2 00	円 銭 —	円 銭 3 00	円 銭 5 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2 00	—	3 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（%表示は、通期は対前期、第 2 四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期（累計）	14,470	3.6	490	△14.8	440	△7.3	220	2.8	4 22
通期	31,270	8.7	1,600	△1.2	1,510	5.9	800	46.9	15 35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	6,608,293株	24年3月期	6,607,510株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	52,090,963株	24年3月期1Q	52,103,141株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の景気低迷から緩やかに回復してまいりましたが、欧州債務危機などを背景とした海外景気の下振れリスクや円高の長期化、電力供給不安等の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、補正予算の効果等から回復傾向となり、民間需要分野でも自動車を中心として持ち直しの動きもありましたが、依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況におきまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、公共投資関連分野向けは、比較的堅調でありましたが、自動車産業関連以外の民間関連分野向けが低調に推移し、売上高は 6,228 百万円と前年同期に比べ 3.3% の減収となり、営業損失は 8 百万円（前年同期は営業利益 167 百万円）、経常損失は 17 百万円（前年同期は経常利益 156 百万円）となりました。また法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純損失は 12 百万円（前年同期は四半期純利益 69 百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（P C 関連製品）公共事業関連では前年度比微増となりましたが、民間投資関連ではマンション向け需要が堅調に推移したものの、LNGプロジェクト向けの減少が大きく、全体としては販売数量、売上金額とも前年同期比減を余儀なくされました。

（ばね・特殊線関連製品）主要な需要分野である自動車産業向け弁ばね鋼線（オイルテンパー線）は、エコカー補助金の追い風もあり、震災影響を受けた前年同期に比べて、販売数量・売上金額とも大幅増となりました。一方、O A 関連製品や家電・弱電向けばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向け需要で、一部増加がありましたが、為替影響を受け前年同期に比べて微減となりました。またステンレス鋼線は、自動車関連向けは前年同期に比べ増加しましたが、建築関連向けが震災復興需要の先送りや外国材との価格競争により減少し、厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は 3,221 百万円と前年同期に比べ 0.8% 減少となり、営業利益は 51 百万円と前年同期に比べ 36.3% 減少となりました。

<鋼索関連事業>

国内総需要が前年同期に比べて減少となるなかで、国内向け販売数量、売上金額ともに減少となりました。また輸出につきましては、前年同期に比べ販売数量、売上金額とも増加しましたが、円高の影響により低調に推移しました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は 2,891 百万円と前年同期に比べ 1.2% 減少となり、営業利益は 19 百万円と前年同期に比べ 84.2% 減少となりました。

<エンジニアリング関連事業>

主力製品である吊構造用ケーブルでは、橋梁向け、建築向けともに前年同期に比べ売上減となりました。また、落橋防止ケーブルおよび道路騒音防止関連製品でも、前年同期に比べ売上減となりました。更に、当四半期に予定しておりました大型建築案件に遅れが生じました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は、100 百万円と前年同期に比べ 59.8% 減少となり、営業損益は 90 百万円の損失（前年同期は 44 百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ 15 百万円、11 百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次の通りとなりました。

総資産は、1,347百万円減少の 41,120百万円となりました。これは主として現金及び預金が減少したことによるものです。

負債は、1,121百万円減少の 22,561百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

純資産は、225百万円減少の 18,558百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は 37.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	4,689
受取手形及び売掛金	10,533	9,637
商品及び製品	3,900	3,959
仕掛品	2,260	2,768
原材料及び貯蔵品	1,606	1,428
繰延税金資産	324	345
その他	533	592
貸倒引当金	△169	△153
流動資産合計	24,838	23,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,406	4,361
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,405
工具、器具及び備品（純額）	162	154
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	42
建設仮勘定	199	79
有形固定資産合計	15,195	15,094
無形固定資産		
投資その他の資産	247	244
投資有価証券	486	800
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	918	925
その他	1,001	988
貸倒引当金	△221	△202
投資その他の資産合計	2,185	2,512
固定資産合計	17,628	17,851
資産合計	42,467	41,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,605
短期借入金	8,015	8,363
リース債務	19	19
未払費用	1,364	1,238
未払法人税等	434	26
賞与引当金	531	227
環境対策引当金	43	—
その他	508	588
流動負債合計	<u>14,036</u>	<u>13,069</u>
固定負債		
長期借入金	6,284	6,079
リース債務	24	26
退職給付引当金	2,189	2,264
役員退職慰労引当金	49	43
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	486
負ののれん	92	77
その他	509	506
固定負債合計	<u>9,647</u>	<u>9,492</u>
負債合計	<u>23,683</u>	<u>22,561</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,333	2,165
自己株式	△1,351	△1,351
株主資本合計	<u>15,399</u>	<u>15,230</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	47
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	<u>53</u>	<u>47</u>
少数株主持分	3,331	3,279
純資産合計	<u>18,783</u>	<u>18,558</u>
負債純資産合計	<u>42,467</u>	<u>41,120</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,438	6,228
売上原価	5,172	5,121
売上総利益	1,266	1,106
販売費及び一般管理費	1,098	1,114
営業利益又は営業損失(△)	167	△8
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	7	9
負ののれん償却額	15	15
固定資産賃貸料	12	12
貸倒引当金戻入額	0	19
その他	2	5
営業外収益合計	48	74
営業外費用		
支払利息	42	43
その他	39	40
営業外費用合計	82	83
経常利益又は経常損失(△)	134	△17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	134	△17
法人税、住民税及び事業税	7	3
法人税等調整額	33	△27
法人税等合計	41	△23
少数株主損益調整前四半期純利益	93	5
少数株主利益	23	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69	△12

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△8
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	△14	△7
四半期包括利益	78	△2
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	△18
少数株主に係る四半期包括利益	23	15

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,247	2,925	250	6,423	15	6,438	—	6,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	179	53	1	233	—	233	△233	—
計	3,426	2,978	251	6,657	15	6,672	△233	6,438
セグメント損益	80	120	△44	156	11	167	—	167

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,221	2,891	100	6,213	15	6,228	—	6,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	334	34	0	369	—	369	△369	—
計	3,556	2,925	101	6,583	15	6,598	△369	6,228
セグメント損益	51	19	△90	△19	11	△8	—	△8

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(訂正前)



平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)小南 孝教
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役総務本部長 (氏名)藤森 直樹 TEL 06-6411-1051
兼総務部長
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,237	△3.1	△7	—	△16	—	△8	—
24年3月期第1四半期	6,438	△8.3	189	△29.3	156	△40.4	82	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2百万円(△97.7%) 24年3月期第1四半期 91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.15	—
24年3月期第1四半期	1.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	41,351	18,799	37.5
24年3月期	42,685	19,021	36.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,520百万円 24年3月期 15,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2 00	—	3 00	5 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2 00	—	3 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（%表示は、通期は対前期、第 2 四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期（累計）	14,470	3.6	490	△14.8	440	△7.3	220	2.8	4 22
通期	31,270	8.7	1,600	△1.2	1,510	5.9	800	46.9	15 35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	6,608,293株	24年3月期	6,607,510株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	52,090,963株	24年3月期1Q	52,103,141株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の景気低迷から緩やかに回復してまいりましたが、欧州債務危機などを背景とした海外景気の下振れリスクや円高の長期化、電力供給不安等の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、補正予算の効果等から回復傾向となり、民間需要分野でも自動車を中心として持ち直しの動きもありましたが、依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況におきまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、公共投資関連分野向けは、比較的堅調でありましたが、自動車産業関連以外の民間関連分野向けが低調に推移し、売上高は 6,237 百万円と前年同期に比べ 3.1% の減収となり、営業損失は 7 百万円（前年同期は営業利益 189 百万円）、経常損失は 16 百万円（前年同期は経常利益 156 百万円）となりました。また法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純損失は 8 百万円（前年同期は四半期純利益 82 百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（PC関連製品）公共事業関連では前年度比微増となりましたが、民間投資関連ではマンション向け需要が堅調に推移したものの、LNGプロジェクト向けの減少が大きく、全体としては販売数量、売上金額とも前年同期比減を余儀なくされました。

（ばね・特殊線関連製品）主要な需要分野である自動車産業向け弁ばね鋼線（オイルテンパー線）は、エコカー補助金の追い風もあり、震災影響を受けた前年同期に比べて、販売数量・売上金額とも大幅増となりました。一方、OA関連製品や家電・弱電向けばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向け需要で、一部増加がありましたが、為替影響を受け前年同期に比べて微減となりました。またステンレス鋼線は、自動車関連向けは前年同期に比べ増加しましたが、建築関連向けが震災復興需要の先送りや外国材との価格競争により減少し、厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は 3,230 百万円と前年同期に比べ 0.5% 減少となり、営業利益は 56 百万円と前年同期に比べ 29.3% 減少となりました。

<鋼索関連事業>

国内総需要が前年同期に比べて減少となるなかで、国内向け販売数量、売上金額ともに減少となりました。また輸出につきましては、前年同期に比べ販売数量、売上金額とも増加しましたが、円高の影響により低調に推移しました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は 2,891 百万円と前年同期に比べ 1.2% 減少となり、営業利益は 17 百万円と前年同期に比べ 88.0% 減少となりました。

<エンジニアリング関連事業>

主力製品である吊構造用ケーブルでは、橋梁向け、建築向けともに前年同期に比べ売上減となりました。また、落橋防止ケーブルおよび道路騒音防止関連製品でも、前年同期に比べ売上減となりました。更に、当四半期に予定しておりました大型建築案件に遅れが生じました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は、100 百万円と前年同期に比べ 59.8% 減少となり、営業損益は 92 百万円の損失（前年同期は 44 百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ 15 百万円、11 百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次の通りとなりました。

総資産は、1,334百万円減少の 41,351百万円となりました。これは主として現金及び預金が減少したことによるものです。

負債は、1,112百万円減少の 22,551百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

純資産は、221百万円減少の 18,799百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は 37.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	4,689
受取手形及び売掛金	10,524	9,637
商品及び製品	3,900	3,959
仕掛品	2,259	2,768
原材料及び貯蔵品	1,606	1,428
繰延税金資産	324	345
その他	349	453
貸倒引当金	△169	△153
流動資産合計	<u>24,689</u>	<u>23,129</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,404	4,359
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,405
工具、器具及び備品（純額）	162	154
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	42
建設仮勘定	199	79
有形固定資産合計	<u>15,193</u>	<u>15,092</u>
無形固定資産		
247		244
投資その他の資産		
投資有価証券	486	800
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	1,287	1,298
その他	1,001	988
貸倒引当金	△221	△202
投資その他の資産合計	<u>2,555</u>	<u>2,885</u>
固定資産合計	<u>17,996</u>	<u>18,222</u>
資産合計	<u>42,685</u>	<u>41,351</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,605
短期借入金	8,015	8,363
リース債務	19	19
未払費用	1,364	1,238
未払法人税等	430	22
賞与引当金	531	227
環境対策引当金	43	—
その他	502	582
流動負債合計	14,026	13,059
固定負債		
長期借入金	6,284	6,079
リース債務	24	26
退職給付引当金	2,189	2,264
役員退職慰労引当金	40	43
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	486
負ののれん	92	77
その他	509	506
固定負債合計	9,638	9,492
負債合計	23,664	22,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,571	2,406
自己株式	△1,351	△1,351
株主資本合計	15,636	15,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	47
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	53	47
少数株主持分	3,331	3,279
純資産合計	19,021	18,799
負債純資産合計	42,685	41,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,438	6,237
売上原価	5,150	5,121
売上総利益	1,288	1,116
販売費及び一般管理費	1,098	1,123
営業利益又は営業損失(△)	189	△7
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	7	9
負ののれん償却額	15	15
固定資産賃貸料	12	12
貸倒引当金戻入額	0	19
その他	2	5
営業外収益合計	48	74
営業外費用		
支払利息	42	43
その他	39	40
営業外費用合計	82	83
経常利益又は経常損失(△)	156	△16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	156	△16
法人税、住民税及び事業税	7	3
法人税等調整額	42	△30
法人税等合計	50	△26
少数株主損益調整前四半期純利益	106	9
少数株主利益	23	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82	△8

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△8
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	△14	△7
四半期包括利益	91	2
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68	△13
少数株主に係る四半期包括利益	23	15

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,247	2,925	250	6,423	15	6,438	—	6,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	179	53	1	233	—	233	△233	—
計	3,426	2,978	251	6,657	15	6,672	△233	6,438
セグメント損益	80	142	△44	178	11	189	—	189

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニアリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,230	2,891	100	6,222	15	6,237	—	6,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	334	34	0	369	—	369	△369	—
計	3,565	2,925	101	6,592	15	6,607	△369	6,237
セグメント損益	56	17	△92	△18	11	△7	—	△7

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。